



大好き大野

令和6年12月27日

NO. 9

文責 山口

熊本県人権子ども集会 体験・活動報告



今年度の熊本県人権子ども集会の体験・活動報告をオンデマンドで本校児童が行いました。日頃行っている縦割り班での活動などをとおして、隣の人と自分を大切にする学校づくりを中心に発表しました。最後は、「私たちは、この大野が大好きです。この仲間が大好きです。大野っ子の優しさは、大野という地域の優しさでもあります。これからも故郷を大切にし、仲間を大切にし、絆を深め合っていきます。」という言葉で締めくくってくれました。自分たちを見つめ直す良い機会になりました。

私はこのお話をいただいたとき、「この子たちならきっといい発表ができる」と思い、挑戦させていただきました。子どもにも、大人にも、とても貴重な経験となったと思います。子どもたちには、「素晴らしい発表でした。ありがとうございます！」と伝えました。

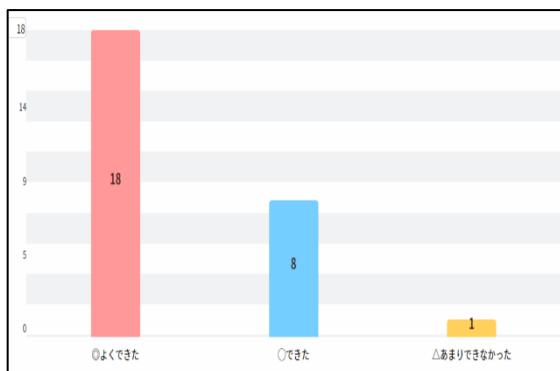


自分たちで学校をよりよく

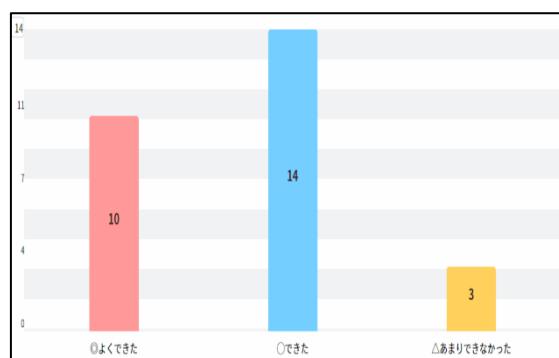
先日の児童集会では、運営体育委員会の子どもたちが中心となって、児童年間目標の振り返りを行いました。このように、先生たちから言われてするのではなく、自分たちで立てた目標を振り返ることは、とても大切なことだと思います。

次のような結果でした。助け合いやあいさつはよくできているようですね。3学期は、苦手なことにもチャレンジしてみると、もっともっと成長できそうです。

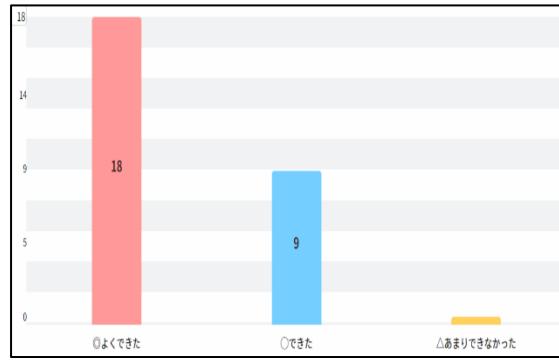
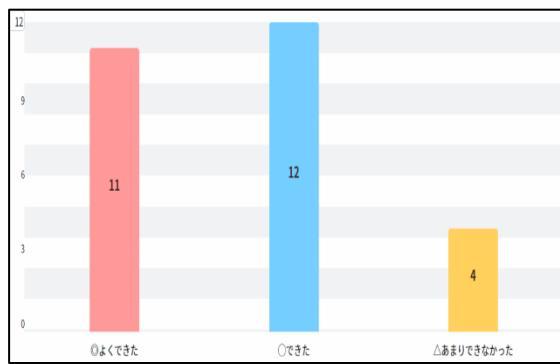
1 みんなで助け合い、「ありがとう」「大丈夫?」と声をかけよう。



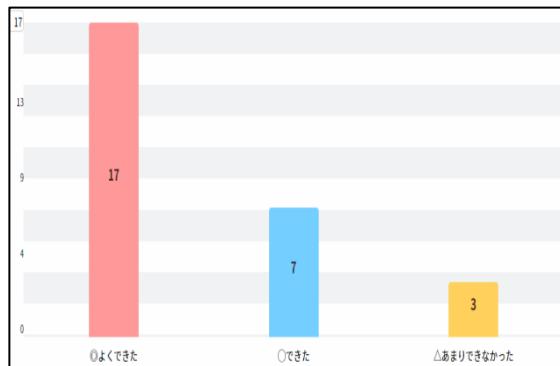
2 本を読もう。



3 苦手なことにもチャレンジしよう。4 自分からあいさつしよう。



5 休み時間には、外で元気に遊ぼう。



ちょっとといい話

大野小学校の子どもたちのすごさを発見しました。それは、「待てる」ことです。
友だちが発表するとき、間違っても、長い時間止まっても、誰一人笑ったり急かしたりせず、ただじっと温かく待ってくれます。

本校に就任当初、子どもたちが集会等でよく発表することに感心していました。それは、話を聞く周りが温かく、安心して発表できるからなのだと、気付かされました。大人には、できそうでなかなかできないことだと思います。これでまたひとつ、大野っ子が好きになりました。

今年もお世話になりました。

今年も、地域の方々・保護者の方々、そして子どもたちの頑張りと笑顔に支えられたあっという間の1年間でした。毎日が充実していて、子どもたちが学校で仲間や先生たちとのやり取りを楽しんでいる様子が、何よりも嬉しかったです。終業式後の平日は、静かで何となく物足りなさを感じています。2~3日ゆっくりしたら、3学期が始まてもいいかなと思うほどです。3学期を楽しみにしています。

また来年もよろしくお願ひ致します。